

今回、2017年夏キャンプでは5日間参加しました。今回のキャンプでは楽しいこともあれば、学んだこともありました。今回特に学べたことが2つあります。

一つ目は、スタッフとしての役割です。今まではスタッフだから、子供たちに何かしてあげなければならないという認識がありました。しかし、なんでもやってしまうと自分のことは自分でやるという行動をしなくなってしまうと気づきました。子供自身でできることは自分でやるように促し、どうしても大人の手が必要な時は完全にやってあげるのではなく手を貸すという認識が大事だと感じました。このキャンプは子供たちの成長をさせる良い場面だと個人的に実感しました。

二つ目は、キャンプで定められている時間は、あくまで目安であることです。今回のキャンプでは、ほんの数時間でしたが、初めてキャプテンをやらせていただきました。今回私が担当した時間は夕食の時間でしたが、いつから食べ始めるか、どのタイミングで「ごちそうさま」をするのかはその時にならないと分かりません。時間通りに行程を進めていくことも大事ですが、少し遅れても臨機応変に対応していく力がキャプテンをやっていくには必要だと感じました。

最後に今回だけでなくこれまでのキャンプも含めて全体の感想を書きます。私自身今回のキャンプで3回目（去年秋を含めると4回）になります。3回を通して感じたことは、このキャンプは子供たちとともに私自身スタッフとしても成長できる場であることです。去年の夏キャンプで初めて参加したときは、子供たちとどう接したらよいか分からず、何もできずに終わりました。しかし、回数を重ねていくうちに、まだまだなところはたくさんありますが、接し方が少しずつですがわかってきました。例えば、子供を見下さないようにする、嫌なことは嫌とはっきり伝える、そして、子供たちが頑張っている姿を応援するところなどです。子供たちから学ぶこともたくさんありますし、頑張っている姿を見て自分自身も頑張ろうという気持ちになるので、このキャンプに参加することでとても良い刺激になりました。このキャンプに出会えて本当に良かったと感じました。

次回のキャンプでは運営側に入り、1回のキャンプがどのようにして成り立っているか、子供たちが良い思い出になるためにはスタッフがどんなことをすべきか考えていきたいです。そして、今回の気づいたことや反省点を生かしながら、子供たちやスタッフの人たちとともに最高の思い出になるようにしていきたいと考えました。

桜美林大学 リベラルアーツ学群
太田航平